

SUCCESS

表紙 解説 私たち昇格しました —サッカー部・女子バスケットボール部—

サッカー部(静岡)、女子バスケットボール部が共に2019年シーズン昇格を決めました。リーグ内では唯一の国立大学です。最初から運動能力の高い学生ばかりを集めたチームではなく、その強さの秘密は部員1人1人が作り上げたチームとしての逞しさにありました。自らの課題に對しどうすれば改善できるかを考え実行する、それを粘り強く何度も積み重ねチームとして強くなっていきました。個ではなくチームとして戦い、チームの一員として自分に何ができるかを考え1人1人が主体的に活躍しています。パワー溢れる学生の活躍にご注目ください。



令和2年度 4月以降の主な行事予定

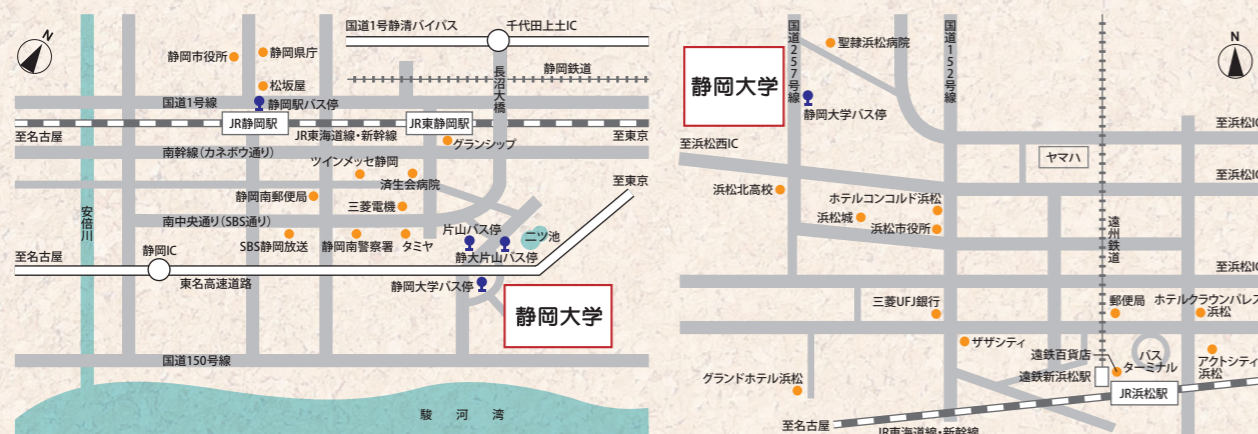
- 4月4日(土) — 令和2年度入学式(グランシップ・大ホール)
- 4月9日(木) — 授業開始
- 5月9日(土)～10日(日) — 令和2年春のビッグフェスティバル(静岡キャンパス)
- 5月9日(土) — 春季オープンキャンパス(静岡キャンパス)
- 5月19日(火) — 全学一斉地震防災訓練
- 6月1日(月) — 創立記念日
- 8月13日(木)～14日(金) — 夏季一斉休業
- 9月11日(金) — 秋季学位記授与式

編集後記

今号では、巻頭特集として、この4月からリニューアルした教養教育についてそのポイントをご紹介します。本学では社会のニーズに合わせて定期的に教養教育の見直しを行っています。今回のリニューアルは国際人材・地域人材育成をさらに進めていくために行われました。中でも、いつでもどこでも学習できるようオンラインで提供

される「数理・データサイエンス科目」の導入は、これまでのスタイルとは違った新しい試みとなっています。また、トピックスでは、育成2位で阪神タイガースに入団した奥山皓太さんを紹介しています。静岡大学初のプロ野球選手の誕生に学内が祝福ムードに包まれました。奥山さんの今後の活躍に期待しましょう。

ACCESS MAP



静岡キャンパス 静岡市駿河区大谷(おおや)836

●交通機関 (バスにて所要時間約25分、1時間に5～7本運行)
JR静岡駅北口のしずくシャトルバス88番乗り場から、美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷(静岡大学経由)」行き、「ふしのかに地球環境史ミュージアム(静岡大学経由)」行きに乗り、「静岡大学」又は「静大片山」で下車。美和大谷線「東大谷」(静岡大学を經由しないもの)行きに乗りした場合、「片山」で下車。

浜松キャンパス 浜松市中区城北(じょうほく)3-5-1

●交通機関 (バスにて所要時間約20分、1時間に10本程度運行)
JR浜松駅北口(バスターミナル15、16番乗り場)から乗車、遠鉄バス全路線「静岡大学」下車。



C O N T E N T S

教養教育がリニューアル 1
 〈Topic 1〉静岡大学→阪神タイガース 奥山皓太さん 5
 〈Topic 2〉祝・昇格 —サッカー部・女子バスケットボール部— 6

静岡大学では社会のニーズをカリキュラム反映させるために、定期的カリキュラムをリニューアルしています。教養教育では、令和2年度から、国際人材および地域人材育成をめざした新しいカリキュラムを提供します。

1：教養基礎科目と教養展開科目の設置

- 全学教育科目をリニューアルし、教養基礎科目と教養展開科目を設置します。
- ◆ 静岡大学で必ず身につけてほしい知識・スキルを学ぶ**必修科目を明確に設定**。
 - ◆ さらに、教養展開科目では、これまでバラバラだった**必修の単位数を全学的に統一**して、教養領域4単位、学際領域(地域志向科目)2単位を必修に。

教養基礎科目

在学中や卒業後に必須となる基本的な知識・スキルを身につける科目

- ☆◎**新入生セミナー**
- ☆◎**数理・データサイエンス**
- ◎**英語**
 - ・初修外国語
 - ・健康体育
 - ・フィールドワーク
- ◎**キャリア形成科目**

教養展開科目

教養基礎科目の学習を基に、学生一人一人の目標に合わせて広い意味での教養を学べる科目

- 教養領域 **4単位必修**
- 学際領域(地域志向科目) **2単位必修**

- ◎：全学統一した必修科目
- ☆：新たに必修科目となった



※地域志向科目については、別区分で必修としている学部もあります。

2：英語カリキュラムのリニューアル

- 新しい英語カリキュラムでは、「留学への動機づけ向上」と「高学年まで英語を継続的に学習し続けることによる英語力の向上」を目指した仕組みを導入します。
- ◆ **自分の英語レベルに応じた授業を受講できるよう**TOEICスコアを活用してクラスを設定。
 - ◆ より高度な英語力を身につけたい学生の目標に応え、新たに1年次に以下の科目を設定。

1年次 前期	1年次 後期
ESPI 留学 を目標にした授業	ESPII 地域 の外部講師を招き実践的に英語を学ぶ授業

- ◆ 英語の学びの持続を図るため、**2年次にも英語の授業を必修**とする。

新たな時代に対応した教養教育に求められるもの



静岡大学 学長
石井 潔

本学では、令和2年度から新たな教養教育カリキュラムを導入します。そのなかでも特徴的なのは、文系理系を問わずすべての新入生の必修科目として設けられた「数理・データサイエンス入門」という授業です。

商品の購入履歴や多くの人々に関心を持っている領域や問題、あるいは彼／彼女たちの行動記録などのビッグデータを独占的に利用できるGAFに代表される「プラットフォーム」の圧倒的優位についてはすでに語り尽くされている感があります。また囲碁や将棋といったゲームにおいては人間の能力をはるかに凌駕するに至っているAIが、特に定型化された人間の労働に近い将来に代替するようになるのではないかと

リニューアルします

3：数理・データサイエンス科目の導入

- 現代社会では多様で膨大なデータの利活用を通して、社会課題を解決したり、新しい価値を創出する人材が求められています。
- ◆ 全学生に向けて、**数理・データサイエンスの基礎的内容を学習**する科目を必修化。
 - ◆ **多様な学生、多様な受講スタイルに対応して**、インターネット上の学習システムを使い、**静大で初めてオンラインで学習**する講義科目に。



数理・データサイエンスの基礎を
しっかり身につけたい

隙間時間を使って
学習したい

繰り返し教材を使って
自宅学習を充実させたい



4：特別教育プログラムの導入

- 令和2年度から、全学的に特別教育プログラムを導入します。これは、所属する学部や学科の授業科目にとどまらず、自身の専攻(主専攻)以外に、興味や関心のある特定のテーマに沿った科目を体系的に学ぶ制度です。
- ◆ 「**修了証書**」が授与されるので、主専攻以外の学習テーマを主体的に学んだことを証明することができ、就職やキャリア形成等の一助に。
 - ◆ 具体的なプログラム例 ※教養教育以外のプログラムは掲載していません。



- **英語特別教育プログラム**
留学や英語を常用する企業に就職を希望する等、高度な英語力の習得を望む学生のためのプログラム
- **グローバル・アジア特別教育プログラム**
幅広い視野と国際感覚を身につけるため、アジアを中心とする留学生と学ぶ全学部横断的なプログラム
- **地域づくり特別教育プログラム**
学生の所属学部や学科等における専門的視点から、地域課題の解決に取り組む人材の育成を目的とするプログラム
- **防災マイスター**
自然災害に対する科学的な知識を有し、それに基づいて災害時に自己や他者の生命と災害後の生活を守る上で有用な最低限の防災知識・スキルを獲得することを目標としたプログラム
- **静岡大学アクティブラーナー特別教育プログラム**
履修学生がキャリア形成に関する科目を体系的に履修、学修することによって自律的キャリア形成に向けた知識を獲得し、大学4年間の学びをより意義深いものとするを旨とするプログラム

う期待や不安も広く社会的に共有されています。このような新たな時代においては、ビッグデータ処理や機械学習といった分野でいったい何が行われているのかについての基本的知識を持っていることは、大学での不可欠の「教養」となっています。

またこれまで主に理系の分野でのみ求められると思われてきた統計的分析やデータ処理及びそのために必要なプログラミングといった手法は、経済学や社会学といった社会科学分野に限らず、文学や歴史学といった人文科学分野でも広く用いられるようになってきています。

例えば先頭亡くなられた速水融先生や静岡県立大学学長を務めておられる鬼頭宏先生を日本における第一人者とする歴史人口学は宗門改帳等の江戸時代に残された膨大な人口データの分析から日本の歴

史の実像を描き出そうとする学問です。歴史学(ヒストリー)は語源的にも「物語(ストーリー)」だという言い方がよくされますが、今やそれは同時にビッグデータによって裏付けられた実証科学でもあるのです。

授業動画を見て自主的に学習し、その都度課される小テストに答えていくというスタイルで行われるという点でも、この授業はこれまでになかった新しい形式で提供されるものとなっています。わからない点については様々な形での質問に答える体制も取っていますが、初めての試みですので、実際に受講した学生諸君の意見も聞きながら日々改善に努めるつもりです。大学の授業はその内容・形式共に大きな変革期を迎えています。この授業がそのような変革に積極的に貢献してくれることを学長として大いに期待しています。

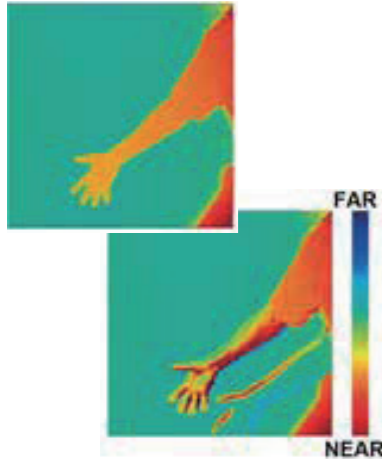
「新機能イメージセンサ」の開発と応用

電子工学研究所 教授 川人 祥二 (KAWAHITO Shoji)

人の眼で言えば網膜に相当するカメラの基幹部品「イメージセンサ」の研究を行っている。半導体集積回路とピクセルデバイスを一体集積化する技術に基づき、18ビットの超高調(諧調:色や明るさの表現力の単位)のもの、光子1個を区別できるまでノイズを低減したもの、超高分解能、高耐環境光の光飛行時間(TOF)距離画像センサなどのほか、8Kイメージセンサは、8K内視鏡にも採用され、内視鏡手術の作業性の改善に貢献している。



静岡大学発ベンチャー企業の(株)ブルックマンテクノロジー(2006年設立)等を通して、研究成果を製品化して世に出すことを目指しています。超高速イメージセンサ、超高感度イメージセンサ、8Kイメージセンサは、高速カメラ、監視カメラ、放送用カメラとして実際に使用されています。TOF距離画像センサについても、同社からサンプル出荷を始め、ロボット等への応用が期待されています。



動きに強いマルチタッチTOF距離画像センサ(左)と従来法との比較



画像を電子的に取得するためのデバイス、距離画像計測、動き検出、高分解能デジタル出力、超高感度、広ダイナミックレンジ、超高速撮像、極低雑音などの新機能、センサの性能を最大限に引き出す信号処理回路とその集積化、画像用・通信用アナログ等を研究。

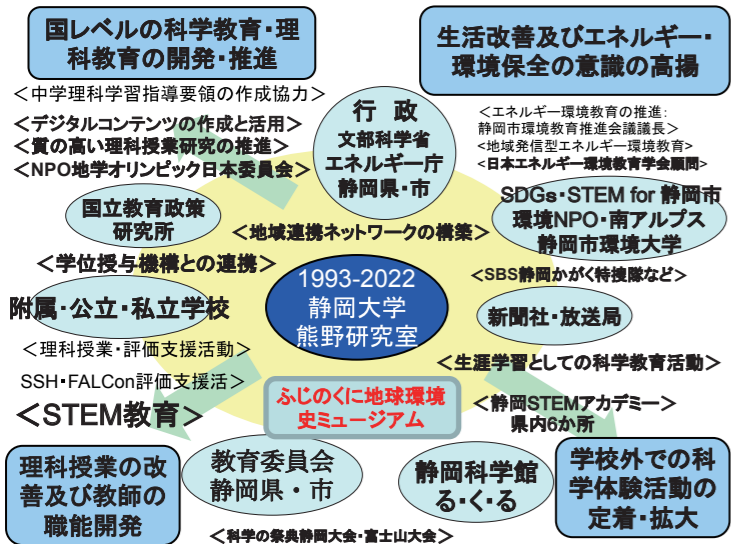
STEM教育の研究で科学教育の改革に挑む

教育学部 教授 熊野 善介 (KUMANO Yoshisuke)

「科学教育・理科教育をもっと日本の文脈に合わせて改善・改革したい」との思いから、得意分野であるアメリカ・カナダ等英語圏の科学教育改革に関わる比較教育論を軸に、授業論、評価論、学習材論、カリキュラム開発論、生涯学習に根ざした科学教育論やエネルギー環境教育論を探究。インドネシア等の開発途上国ではJICA(国際協力機構)の支援プログラムに関わる。現在は国、県、市レベルの科学技術教育ガバナンスと連動させた教育改革論、科学・技術・工学・数学を融合したSTEM教育の日米の先端交流研究に挑む。



東日本大震災や福島原子力発電所の事故や災害から、日本が立ち上がっていくためには「STEMリテラシーを獲得した国民の育成」が重要です。科学や工学の本質を学び、具体的に「科学すること」「工学すること」を理解し、信頼できるデータを見分け、個人として判断ができ、風評に惑わされない態度が求められます。過去の事例をもとに、今後も起こるであろう様々な課題に、創造性豊かに果敢に挑戦する人々を育成するためにはSTEM教育に関する理論・実践研究こそが必要です。

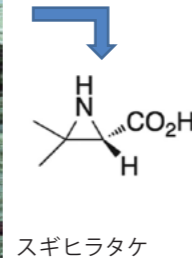


発見!天然からの新しい機能や構造をもつ分子

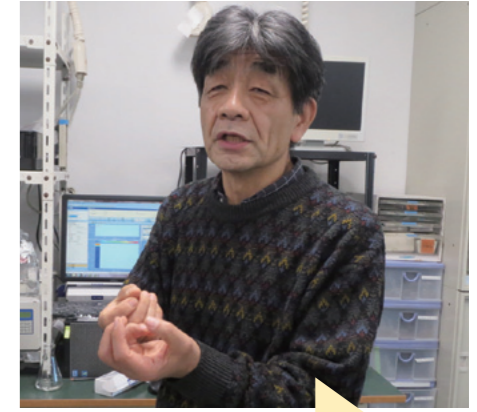
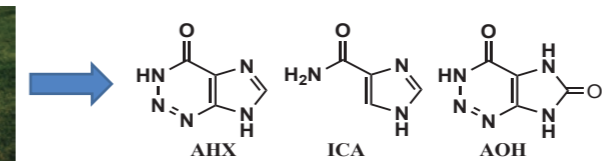
グリーン科学技術研究所 教授 河岸 洋和 (KAWAGISHI Hirokazu)

キノコは地球上に14万種以上有ると言われているが、ほとんどが未開拓・未利用な生物資源である。そこで、キノコの作り出す特別な化合物を見つけるため、以下の研究を行っている。

- 1) ヤマブシタケから認知症等に効く可能性のある物質を発見。臨床試験で確認されている。
- 2) 2004年に多数の死者を出したスギヒラタケ。その原因の鍵となる物質を発見した。
- 3) 芝が輪状に繁茂し、その後キノコが発生するフェアリーリング(fairyring、妖精の輪)という現象がある。その現象を起こすキノコ(コムラサキシメジ)から、その原因物質を発見。その物質は多くの作物の収量を増加させる効果があることがわかった。



フェアリーリング



私は、キノコが引き起こすあらゆる生命現象を小さな分子で説明したいと思っています。その生物の遺伝子情報(ゲノム)がすべて分かったとしても、最も先端で働いている低分子が分からなければ「絵に描いた餅」にすぎないのです。上記以外にも「キノコを発生させるホルモン」の発見に向けて、学生たちと日々わくわくしながら研究を行っています。マツタケやトリュフの人工栽培も可能になるかもしれません。

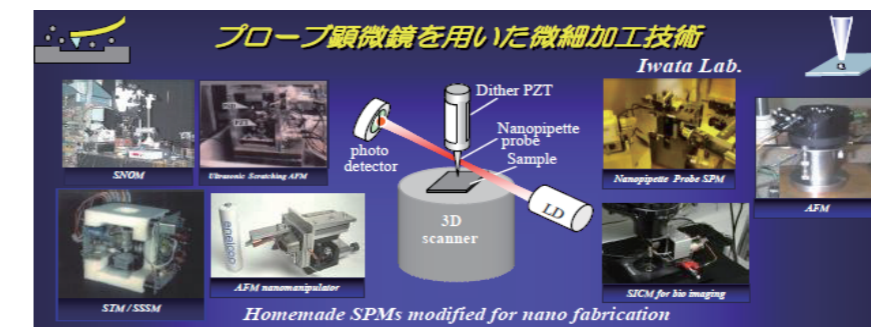
ナノスケールの世界で加工技術を開拓

工学部 教授 岩田 太 (IWATA Futoshi)

ナノスケール(1ナノメートル=1ミリメートルの100万分の1)の世界でものづくりができるよう、超精密計測法や微細加工法など、ナノスケールの計測・加工・操作技術を開発し、基礎・応用研究を展開している。

◆走査型プローブ顕微鏡(SPM=Scanning Probe Microscope)の活用

微小な針(プローブ)で試料表面をなぞり、その形状や性質の観察が可能で、真空環境のみならず、大気中や液中でも使える、という特徴を活用。超精密な微細加工ツールとして、針先で物質を除去したり、堆積したりする様々な微細加工法を開発。先端開口を有する針先からターゲットの細胞のみに正確に分子を導入できる技術は、生物・医学分野での活用が期待されている。



「小さな世界で生じている現象や反応を見てみたい」という欲求は、顕微鏡技術を発展させてきました。微小世界が見えてくると今度は「その世界を触ってみたい」「触るだけでなく動かしたり組み立てたりしてみたい」と興味は尽きません。こうしたナノ世界でも容易かつ巧妙なものづくりが可能になる技術を日々開拓しています。その実現はナノマシンや生体分子の操作など、理工学や生物学、医学など幅広い分野で応用が期待されています。

静岡大学 →
阪神タイガース
奥山 皓太
さん



新天地で
頑張ってます！

2019年10月17日、「プロ野球ドラフト会議」が行われ、教育学部の奥山皓太さんが阪神タイガースから育成二位で指名された。本学から初のドラフト指名される快挙となり、静岡大学初のプロ野球選手が誕生した。

● やれることは全てやる

若虎寮「虎風荘」に入寮したので、新しい環境に早く慣れなければいけませんし、覚えることもたくさんあります。自分は特にアピールし続けなければいけない立場なので、失敗を恐れずに積極的に行動したいと思ひますし、「やれることは全てやる」という意気込みで臨みます。

● 緊張の第一歩

春季キャンプでは、球団の関係者やファンの方など多くの人に練習を見られる初めての経験で、その中でも監督やコーチなどの視線には慣れず、さすがに初日は緊張しました。同じ新人選手たちと切磋琢磨し、一日でも早く支配下登録を勝ち取れるように全力を尽くします。

● ご縁に恵まれてここまで来られた

自分が阪神に入団できたのは一言でいうと「運が良かったから」だと思います。これまで野球部の仲間をはじめ、監督やコーチ、スカウトの方、友人・先生、多くの方と出会いがありました。自分を高め支えてくださった多くの方との出会い、そのタイミングなど歯車がうまく噛み合っただけでプロ野球選手になることができました。これからは、自分を支え背中を押してくれた方々へ恩返しをするため、みなさんの期待に応えることができるよう、プロ野球の世界で頑張ります。



入団会見後のフォトセッションで豪快な素振りを披露する奥山選手



奥山 皓太 (おくやま こうた)
教育学部 学校教育教員養成課程
教科教育学専攻 保健体育教育専修
出身高校: 山梨県立甲府西高等学校
ポジション: 外野手
右投げ右打ち
身長186cm 体重93kg
50m5秒8の俊足と遠投120mの強肩、
抜群の身体能力が魅力



祝 /
昇格

We fight together!



エリートやトップアスリートが集まったわけではない。自らが考え、課題を見つけ、トレーニングで改善する。コーチの言葉を理解し、行動に変える力。それが、主体性が生み出すチーム一丸の“静大スタイル”



サッカー部 (静岡)

● ピッチ外でも特性を生かし活躍

静岡大学にはスポーツ推薦入試がなく、全国からサッカーエリートを集めることはできません。高校までのサッカー経験や実績が異なる分、各自の経験値を活かし、部内において自分にしかできないことを見つけ実行する運しさがありません。例えば、過去のデータを分析し自分たちの特徴や傾向をまとめる分析班の存在など自分の経験や特性を生かしピッチ外でも活躍しています。

● 朝組と夕組に分け

平日はグラウンドを複数の部活で使用しているため、フルピッチ使える日が少ない中でグラウンドの空いている朝の時間を活用し、朝に練習する組と夕方に練習する組に分け、練習効率を上げました。練習中から味方に強く要求するシーンが頻繁にあり、チームにより緊張感を与えたことも相まってチームを1年で1部昇格に導きました。

● 多くの支援に感謝

静岡大学は2012年3月に(株)エスパルスと包括連携協定を締結しており、様々な活動を行っています。2016年度より清水エスパルスからアカデミーダイレクター(S級コーチ)である池谷孝氏を監督として派遣してもらっています。また、練習で着用するトレーニングウェアや公式戦ユニフォームも、後援会のご助力により、地元企業6社の支援を受け作製することができました。皆様への感謝の気持ちを忘れずに戦っていきます。

● 自信を持って戦う

自分たちで練習メニューを考えたり、課題を見つけ解決へと導く練習法を提案したり、各個人が主体的にチームに関わり、どのチームにも負けない練習量を重ねてきました。「自分たちならできる」という自信を持ってプレーし、東海1部を堂々と戦います。

東海リーグ1部昇格!



部員数: 41名
活動時間: 火・水・木・金・土・日曜日

女子バスケットボール部

● メンバーに共通するバスケへの強い気持ち

ただ部活動でバスケをしているのではなく、「絶対に勝ちたい」と思って試合に臨んでいます。相手と“対”になった時に攻め切る力もあります。昨シーズン、勝負のかかった大事な試合でそうした力を発揮でき、昇格することができました。

● 個ではなくチームとして戦う

部員数は少ないが中身の濃い練習ができ、1日の練習の中でも全ての部員とコミュニケーションがとれ、チームの団結力が高まっています。1人1人の能力はそれほど高くないため、普通にやったら能力の高い選手がいるチーム、背の高い選手がいるチームが勝つが、チームとして戦えば結果は違ってきます。

● 主体的にチームに関わる

練習メニューをどんどん進めていくのではなく、メニューの合間に皆で集まって自分の意見を言い合える場を設けています。全部員交代で各練習日の代表者を務め、チーム全体が練習に主体的に関わることができています。練習後は学年関係なく和気あいあいとしていて、練習中の真剣さとはギャップがあるかもしれません。

● 唯一の国立大学として

今季は、2部で勝ちを重ね1部との入替戦に出場することを目標としてやっています。「高い目標ではあるが、低い目標を立ててもそれ以上の結果は出せない」とこの目標を決めました。4月からは新入生が入ってきますがバスケの実力や経験は関係なく、バスケが好きだという強い気持ちを持っている方に入部してもらえると嬉しです。東海2部で唯一の国公立大学なので皆に応援してもらえよう頑張ります。

東海リーグ2部昇格!



部員数: 11名
活動時間: 月・水・木・金・土・日曜日



Where there's a will, there's a way.

—意志あるところに道はある—

たき なつ み
瀧 夏美 さん

人文社会科学部 言語文化学科 (2018年卒業)
株式会社静岡銀行 勤務

● 生まれ育った地で、必要とされる喜び

地元に戻りたいという気持ちで、静岡県での就職を決めました。さらに、人々の生活に欠かせない業種で、地元静岡で多くの人の役に立っている静岡銀行に入行しました。現在は、資産運用に携わる仕事をしており、相続や資産形成など、コンサルティング業務を行っています。お金に関する悩みを打ち明けていただき、お客さまにご満足いただける提案ができた時、特にやりがいを感じます。お金という目に見えない商品を扱うからこそ、お客さまからの評価は自分への評価に直結していると考え、日々行動しています。

● 留学を視野に入れ、静岡大学へ

英語を専門的に学びたかったので、留学先としての協定校が大変豊富な静岡大学に入学を決めました。大学2年次から、「英米コース」へ進み、3年次終了後、半年間協定校のアルバータ大学(カナダ)へ、英語研修と専門科目の履修を組み合わせたVSCPというプログラムを利用して留学しました。英語を学ぶ授業だけでなく、現地の大学生が受ける授業を体験できたのは、貴重な経験でした。日頃の学びや留学の経験を活かし、4年次の卒業論文は英語で取り組みました。同じコースの友人達と毎日大学の図書館に籠もって、試行錯誤し完成させたことは、今となってはいい思い出です。

● 今も役立つ「管弦楽団の団長」の経験

学生時代の多くを管弦楽団で過ごしました。浜松キャンパスとの合同サークルで、年2回の定期演奏会のために半年かけて準備をするので、仲間との絆も深まりました。3年次には、団長という立場で100名以上の団員と関わり、団をまとめていくことに。外部の指揮者の先生、社会人の諸先輩方、活動を支援して下さるスポンサー様などと折衝する機会も多くなりました。そのおかげで、お客さま・会社の仲間ともスムーズに会話を始めることができたり、相手が何を期待しているかを常に考えながら話したり、社会人生活にも団長としての経験が大いに役に立っています。

● とことん学べる環境を、存分に活用して

静岡大学では自分の学びをとことん追求できます。せっかくの環境を存分に活かし後悔のないよう過ごしてください。どんな分野でも、尊敬できる人とたくさん関わることで、自分に磨きがかかっていくと思います。日本だけでなく海外の様々な世界に触れておくのも、時間のある学生だからこそ思いっきりできる経験です。海外での経験から影響を受けることももちろんですが、初めて会った人との話のタネになることも利点ではないでしょうか。

—Profile—

1994年生まれ 静岡県立清水東高等学校卒
2018年3月 静岡大学 人文社会科学部 言語文化学科 卒業
2018年4月 株式会社静岡銀行 入行 (総合職: 営業)
趣味=旅行・楽器演奏



現在私が働いている支店にて。毎日多くのお客様がいらっしゃいます。



カナダといえば大自然。足を伸ばしてバンフへ旅行しました。



管弦楽団のトロンボーンパートの仲間と、演奏会前の一枚です。



—なりたかった自分になるのに、遅すぎることはない—

いわせ たか ひろ
岩瀬 敬宏 さん

理工学研究科 (2006年修了)
東亜合成株式会社 勤務

● 好きだった化学を、仕事に

研究室に配属後、新しい化合物を合成する研究を行っている中で、社会に出てからも、機能をもつ化合物の合成を行える仕事に就けたらと考え、就職活動を行いました。大学を修了するまでに得た化学の知識や化合物合成の技術が活かせることがこの仕事を選んだ大きな理由です。実際には、より専門的な知識や工学的な考え方など、多くのことを新たに学ぶ必要がありましたが、最も基礎的な部分には化学が関係した仕事に就けたことに満足しています。好きだった化学に、仕事として携われることは非常に素晴らしいです。瞬間接着剤や機能性モノマーの開発を通して、大学を修了するまでの課程で得た知識を活かすことができました。さらに、光で性質が変化する新しい素材の開発と流通にも携われることができ、仕事のやりがいを感じています。

● 学生生活での経験が、今に活かしている

講義の履修や専門実験のレポート作成に追われた記憶が強く印象に残っています。勉学に打ち込む中でも、夏休みなどを利用して、同じ化学科の同級生と旅行やドライブなど、楽しく過ごす時間も、メリハリのある学生生活でした。恩師は理学部化学科の近藤満先生です。学部4年から3年間、近藤研究室で金属錯体の合成研究を行っていました。

研究成果を学会で発表したり、英語論文にまとめたりした経験は、自信となり、研究に対する視野も広がり、社会に出てからも非常に役立っています。

● なりたい自分になるために、経験を積もう

大学では、勉強以外に、アルバイトや趣味、サークルなど、色々なことを体験できると思いますが、自分が社会に出て、何をやっていきたいか、という答えにつながるような経験を積んで欲しいですね。そのためには、いろいろなことを経験し、失敗も繰り返しながら、自分で考えて行動することが大事なのだと思います。また、自分の専門分野をしっかりと勉強することももちろんですが、時間に余裕があれば英会話を行っておいた方が良いでしょう。読んだり書いたりする英語でも、実際に英語で議論する場となると、なかなか言葉が出て来ない、あるいは先方の言っていることが聞き取れない、ということが何度もありました。授業については基礎と応用がよく対比して語られることがありますが、どちらが良いかということではなく、どちらも重要だという認識で、一生懸命勉強しておくのが良いと思います。企業における製品開発においても、基礎的な知識は非常に重要だと感じています。

—Profile—

1981年生まれ 愛知県立安城高等学校卒
2006年3月 静岡大学大学院 理工学研究科 修了
2006年4月 東亜合成株式会社 入社 (研究所→工場技術開発→本店営業部)
趣味=釣り・ゴルフ・アクアリウム



研究室にて、論文執筆中の一枚です。



学会発表後に研究室メンバーと。

普段働いているオフィスでの私。学生時代の経験が活かせる、やりがいのある仕事です。



キャンパスライフを緑とともに

静岡キャンパスは日本一の高低差のあるキャンパスと言われています。正門から人文社会科学部棟の最上階では約100メートルも高低差があり、急いでいても走ることは諦めるほど。しかし、そんなキャンパスゆえ多様な植物を見ることができます。そこにはそれぞれの木々の歴史、知られざるエピソードが……。日本一の富士山や駿河湾を見ることができるキャンパスを巡りました。



ソテツ

静大の
パワースポット!?

通常は九州までの暖かい地域にしか生えない。このソテツは特に手を加えなくても越冬できる強くて不思議なソテツ。



イチョウ

「定年坂」の由来は……定年になる頃には坂がきつくて登れないからとか。

秋には定年坂をギンナンが転がる。静岡キャンパス建設時に先生が静岡大の発展を願って東京大学から持ち込んだとか。



2人の先生に聞いてみた!!

徳岡徹 先生
(理学部)

数か月前に構内で「マツバラ」を発見しました。絶滅危惧種で大変貴重なものです。もしキャンパスで見かけた場合は大切にしてください。貴重な「ハンカチノキ」も以前は生えていました。残念ながら今はなくなりましたが、構内を巡ると貴重な植物に出会えるかもしれません。静岡キャンパスでぜひ見てほしいものは「ソテツ」です。

マツバラ▶

天野豊己 先生
(理学部)

静岡大のキャンパスは、実は植物の宝庫です。正門～教育学部棟の下あたりまでは都会の植物、教育学部棟～人文社会科学部棟あたりでは山の植物を観察することができます。植物の名前を調べるのは大変ですが、花を見て図鑑を調べると結構分かります。道ばたの花々を1年かけてじっくり調べて行くと、次の年にはきっとたくさんの植物の名前が分かるようになっていくと思いますよ。



第二食堂前は
季節が早く進む!?

取材した1月にも第二食堂前には、春に開花するハルジオンが元気に咲いていた。ちょうどそこには食堂の換気扇が! 換気扇からの暖かい風がその周辺の季節を早めているよう。



多くの小学生たちが
構内を歩き回る

キャンパス内にはマテバシイやスダジイ、シラカシといったどんぐりの木がたくさん生えている。10月～11月頃になると小学校、幼稚園、保育園の子供たちがどんぐり拾いに訪れる。(要申し込み)



CHECK!

静岡大学

編集後記

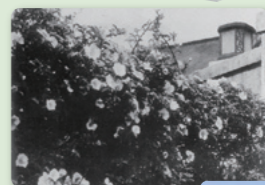
キャンパス内には多種多様な植物が生えています。静岡キャンパスを訪れた方は、高低差のあるキャンパスならではの植物観察もぜひ楽しんでみてください。いい運動にもなりますよ。

企画・作成・イラスト: 広報学生委員会

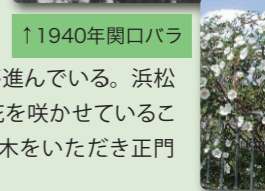
石原 健・宮澤かれん
田口実花子・千頭和良彰
新井璃子・大野ほのか・武田葉奈

浜松キャンパス 白薔薇の生垣に歴史あり

1922年静岡大学の前身校の1つである旧制浜松高等工業学校が創設された。初代校長の関口壮吉先生は、教育は美しい環境で行いたいとの思いから、学校に塀を作らず白薔薇(関口バラ)を生垣とした。2022年に浜松高等工業学校が設立100周年を迎えることを記念し、浜松キャンパスの正門付近を当時と同じように関口バラでいっぱいしようという計画が進んでいる。浜松市立高校(浜松高等工業学校跡地)で現在も花を咲かせていることから、2016年に市立高校から関口バラの苗木をいただき正門に植えた。現在も正門で関口バラが楽しめる。



↓現在の関口バラ



↑1940年関口バラ

植物マニアの皆さんは、こちらに半透明の赤いシートを当てて浮かび上がる名前の植物も探してみてください...!



暗記用に使うシートだよ



メンバー (人数)

准教授(1)、事務補佐員(1)、
博士課程(2)、修士課程(5)、
学士課程(9)、バイク(2)

研究室

2013年に発足。「高度交通システム」のMaaS (Mobility as a Service) に関する研究を実施。技術の枠にはとらわれず、バーチャルリアリティなどの情報技術はもちろん、センサーを扱う電子工学や制御工学による技術まで取り扱うため、幅広い知識・技術が身につきます。

Motto is **Rapid Prototyping!!**

世の中にないものは自分たちが創造する —ともを

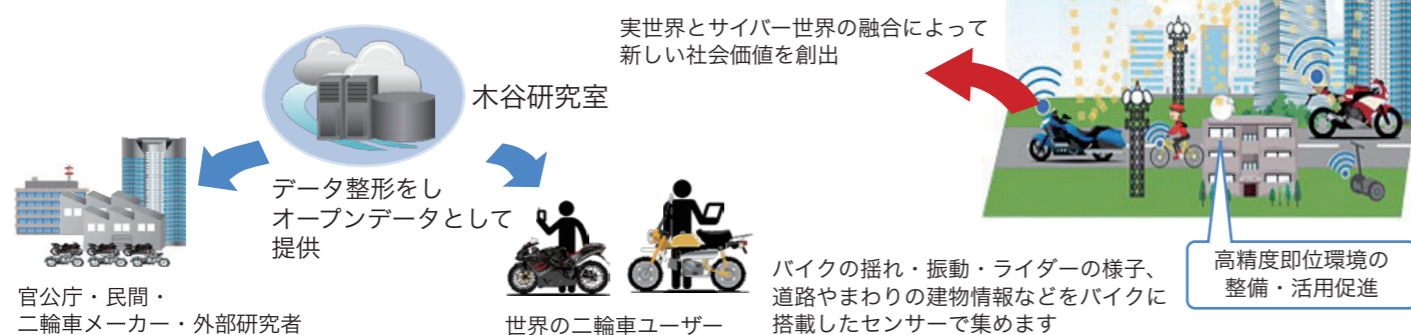
交通社会をよりよくするための研究

2020年は「社会インフラ」「センシング」をテーマに情報科学で交通社会をより良くするための研究を重ねています。昨今、四輪車の自動運転の研究開発がさかんに行われている中、私たちは二輪車などの小型モビリティの持つ潜在能力に着目し、モビリティの車体運動やライダーの動きを明らかにし、QoL(Quality of Life)向上につなげることを目指して研究しています。

具体的には、世界中の小型モビリティやライダーに様々なセンサーを取り付けて有用なデータを集めるためのシステム設計や、それらデータから新たに価値を生み出すロジックの研究をしています。また、自動運転社会に向けて、二輪車と四輪車が安心して共存できる社会を創っていきます。

世界に先駆け浜松で高精度衛星測位環境を無償公開

社会インフラとしては、世界の先駆けとして高精度衛星測位用の補正情報を誰でも利用できるよう常時無償配信しています(hamamatsu-gnss.org)。高精度衛星測位は、GPSに代表される屋外測位の手法をセンチメートル精度で利用できるようにする先端技術です。この技術は今後当たり前となるため、私たちが一足先に技術応用を開拓しています。



学会発表

積極的に外部発表を行って有識者からのアドバイスももらいます。写真は国際会議IEEE VNC 2019にて学生が発表している様子です。



高精度衛星測位用基準局設備

情報学部2号館屋上で稼働中



ライディング・シミュレータ

上池自動車学校から貰い受けたシミュレータ。公道実験の予備実験などで活用しています。



研究用二輪車(SUZUKI V-Strom250 & Kawasaki KDX125)

二輪免許を持っている研究室メンバーは自由に使うことができます。



木谷友哉 准教授
t-kitani@kitanilab.org

出身

奈良高専
→大阪大学

研究分野

計算機科学
コンピュータ・ネットワーク

研究テーマ

高度交通システム
衛星測位システム
センサネットワーク



学生しか知らない先生の素顔～実は意外とお茶目な先生～
真面目で熱心、真摯に学生と向き合ってくれます。マヨネーズが苦手なことがタコパで判明し、スマホではアイスクライマーを使っています。

↑自分が写りこんでいるのを気にせずTwitterに写真を投稿する先生



←テクノフェスタ

ラジコンの自動運転の出し物をしました。子どもたちに大人気でした。

ロボットカーコンテスト2019→

衛星測位を用いたラジコン自動運転の競技大会に出場しました。大会史上初の二輪車での参加で大きな話題となり、賞を勝ち取りました。



研究室旅行

毎年夏に研究室旅行に行きます。遊びだけではなく、3年生のテクノフェスタの進捗報告会を兼ねています。



パーティー

研究室メンバーの親睦を深めるため、定期的にパーティーを行っています。



きたにけん二輪車愛好会

バイク免許を持っている学生で集まってツーリングに行っています。

Shizudai Mini News



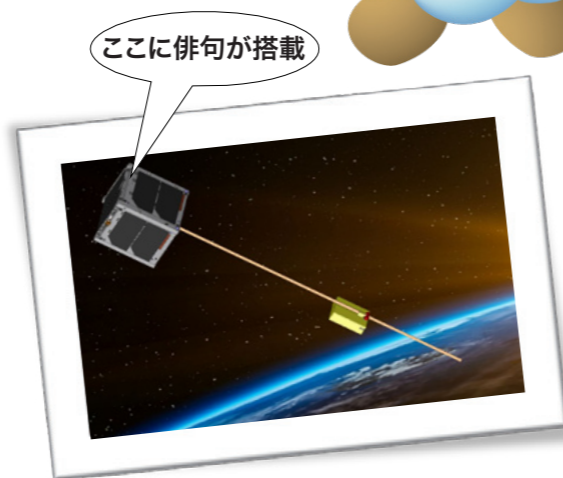
超小型衛星「STARS-Me2」エレベーター実験 搭載俳句決定

工学部 能見公博教授らは、地球と宇宙ステーションを結ぶ「宇宙エレベーター」の研究をしています。2018年度に打ち上げた超小型衛星 STARS-Meでは、小規模ながらも宇宙でのエレベーター実験に世界で初めて挑みました。2020年度には改良機である「STARS-Me2」の打ち上げが決定しています。この人工衛星に載せる俳句の募集をしたところ1,508句(参加校40校)もの応募がありました。1,508句の俳句の中から優秀作品に選ばれた22句は衛星内部のプレートに俳句が刻まれ宇宙に届けられます。

STARS-Me2の打ち上げ、宇宙エレベーターの実験とともに俳句にもご注目ください。

【最優秀作品のご紹介】

- 小学生の部 **お月さま 今夜もぼくのみちあんない**
袋井市立袋井南小学校 1年生 栗山知也さん
- 中学生の部 **アメンボの 背にも宇宙の 風が吹く**
静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年生 神尾 雛子さん
- 高校生の部 **トランペット 上げたる先に オリオン座**
静岡県立浜北西高等学校 2年生 石川 結那さん



STARS-Me2 完成イメージ

AIを活用した健康増進などに取り組む調査研究プロジェクト 開始

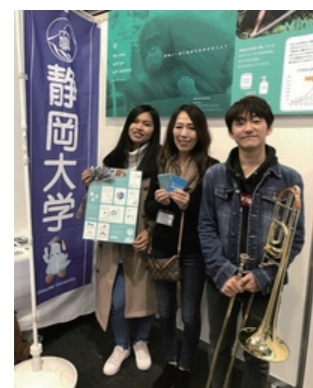


2月10日記者会見(左より竹林洋一特任教授、宮元陸加賀市長)

静岡大学ケア情報学研究所は、加賀市との「AIを活用した健康増進、認知症などのケア向上を目指した協同事業」を開始しました。同プロジェクトは、市民が健康に笑顔で暮らせるまちづくりを目指す加賀市と高齢者の介護や医療を支援する技術開発を中心に産官学の連携拠点として、まちづくりへの幅広い貢献を目指す静岡大学ケア情報学研究所などが共同で遂行していきます。まずは多くの市民を対象に認知症の理解を深める学習会を開き、アンケートを通じて学習効果の検証を行います。さらに介護予防の活動をするサークル等の協力を得て血圧や筋肉量などの健康データを収集、分析し健康増進プログラムの研究も進めていきます。

本学のAIを使って介護や医療を支援する技術研究に関心が寄せられています。

SDG s 達成を目指して



1月11日「SDGs COLLECTION supported by TGCLずおか 2020」にて

静岡市の地方創生プロジェクト「SDGs COLLECTION supported by TGCLずおか 2020」に教育学部 田宮ゼミがブース出展をしました。静岡市企画課・日本平動物園と連携し、「日本平動物園のオランウータンから学ぶ持続可能な社会と私たちの生活」をテーマに、地球の未来を考える企画となりました。ブースに訪れた多くの来場者に、啓発リーフレットを配布しながら、SDG s 達成に向け何が出来るかを考えていただくきっかけづくりとなりました。

本学は持続可能な社会実現を目指し、4月に「未来社会デザイン機構」を設置しました。今後の本学の取組みにご期待ください。



読者の皆様へアンケートのお願い

静岡大学広報誌「SUCCESS」vol.23をお読みになったの感想をお聞かせください。巻末の郵便はがきのアンケートにお答えいただき、ご投函ください(2020年10月31日まで切手不要)。今後の紙面作りの参考にさせていただきます。



ご寄附をありがとうございました 静岡大学未来創成基金寄附者芳名一覧

(五十音順)

静岡大学未来創成基金にご寄附をいただきまして、心より御礼申し上げます。ご厚意を賜りました皆様へ感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

〈個人〉

青島 傳隼 様	青島 時夫 様	赤井 成子 様	秋山 琴音 様	天坂 晋 様
新崎 智広 様	伊賀 匡 様	五十嵐 雄志 様	井口 一成 様	池谷 政之 様
池田 享介 様	石川 美紀 様	石田 明広 様	石田 貴朗 様	石塚 宏之 様
石野 達佳 様	泉水 朝順 様	磯部 悦郎 様	磯部 義久 様	市川 浩代 様
一ノ瀬 元喜 様	伊藤 宏彦 様	伊藤 悟 様	伊藤 隆 様	伊東 孝博 様
伊藤 哲 様	伊藤 文彦 様	宜則 保子 様	乾 仁至 様	犬塚 宏史 様
井辺 博光 様	岩倉 史佳 様	岩崎 保子 様	堀 昌道 様	上 啓仁 様
打江 信夫 様	浦尻 勇利 様	江口 尚純 様	榎本 昌徹 様	大石 慶亮 様
OSHIRO LUIS 様	太田 有紀 様	大塚 玲 様	大柳 理子 様	岡田 勇作 様
岡端 隆 様	岡部 誠 様	岡村 成悟 様	岡村 邦夫 様	尾関 弘光 様
荻野 明久 様	小栗 成哲 様	尾崎 智子 様	長田 裕子 様	尾山 誠三 様
織田 博 様	小野 博之 様	柿沼 星 様	柿沼 金澤 様	金子 浩史 様
勝野 政克 様	加藤 育久 様	加藤 和広 様	河合 文雄 様	川口 憲弘 様
神谷 正吾 様	加茂 嘉代子 様	河合 文博 様	武博 清一 様	栗田 将光 様
川島 孝文 様	菊池 将一 様	久米 浩英 様	岸本 庸夫 様	北村 栗野 様
久保田 亘洋 様	熊倉 啓之 様	黒田 浩一 様	黄 依喬 様	後藤 昭則 様
紅林 秀治 様	黒澤 和代 様	小林 敬一 様	小林 朋子 様	昆野 恵 様
小西 茂毅 様	小岱 京子 様	左口 治良 様	佐久間 牧夫 様	笹原 登 様
榊原 光乃 様	坂口 恭子 様	真田 雄介 様	佐野 孝 様	漆川 憲一 様
佐藤 克彦 様	佐藤 晃 様	白鳥 朋子 様	白柳 日向子 様	末広 陽里 様
肖 雪交 様	菅沼 完美 様	菅野 貴浩 様	杉野 剛英 様	杉野 日 様
菅 友廣 様	杉山 修 様	杉山 剛 様	杉山 正晃 様	鈴木 潤也 様
杉本 久子 様	鈴木 成人 様	鈴木 正幸 様	高島 寛之 様	田形 晃人 様
鈴木 寿人 様	高橋 幸弘 様	竹内 義明 様	竹村 智恵子 様	田中 英代 様
高橋 囀 様	田邊 典弘 様	戸島 準一郎 様	柄澤 森二 様	寺上 智之 様
寺田 雄介 様	遠山 紗矢香 様	中西 加奈 様	長野 陽市 様	柳楽 真理子 様
長島 啓介 様	中瀬 美也子 様	二宮 愛実 様	丹羽 忠嗣 様	野尻 誠 様
成岡 裕司 様	西田 大八郎 様	橋本 昌大 様	長谷川 慎 様	甘日出 正美 様
野村 英司 様	芳賀 利允 様	伴 美智子 様	久富 恵世 様	比田井 昌英 様
浜地 幸生 様	早川 邦夫 様	平川 和貴 様	平田 宣久 様	深澤 和広 様
日野 和匡 様	日比野 由貴夫 様	福田 雅澄 様	藤田 昌男 様	藤田 靖子 様
福田 和典 様	堀井 啓右 様	本多 弘澄 様	前川 整洋 様	前中 卓 様
細川 敦央 様	牧山 宗刀 様	真栗 友花 様	正木 彰一 様	松下 博志 様
牧田 大志 様	松永 弘 様	武藤 禎一 様	村上新 久光 様	丸山 久代 様
松田 和子 様	三輪 洋大 様	武望 美里 様	村上 裕子 様	村山 功 様
三輪 強 様	望月 順江 様	望月 美里 様	山口 昇吾 様	山崎 一広 様
室伏 春樹 様	守屋 勝裕 様	柳沢 歌奈 様	雪田 聡 様	吉田 寛 様
森末 哲夫 様	山本 孝仁 様	山本 恒夫 様	和多野 穰 様	山崎 延子 様
山田 真美 様	米村 圭司 様	米村 純子 様		

〈法人等〉

- A S T I 株式会社 様
- 静岡大学教育学部附属特別支援学校後援会 様
- 浜松工業会岳南支部 様
- 静岡大学教育学部附属島田中学校 様
- 静大77経済卒 同期会 様
- 浜松工業会湘南支部 様

※ご芳名は、原則令和元年8月1日から令和2年1月31日までの間にご寄附いただき、公開についてご承諾いただきました方について掲載しております。なお一部、クレジット等含め入金日により、前回掲載分に間に合わなかった寄附者の方々もあわせて掲載しております。ご入金が無確認の皆様については、今後、ご入金のご確認ができ次第、順次、広報誌に掲載させていただきます。

静岡大学未来創成基金について

静岡大学未来創成基金へいただいたご寄附は、寄附者の皆様のご意向に沿い、有効に活用させていただきます。主な用途は以下のとおりです。

- ・学生奨学支援
- ・国際交流事業
- ・学術研究支援
- ・キャンパス整備
- ・修学支援事業
- ・特定基金事業

※静岡大学未来創成基金の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

静岡大学学長室

電話：054-238-4402
E-mail：kikin@adb.shizuoka.ac.jp

未来創成基金ウェブサイト

<https://wwp.shizuoka.ac.jp/fund/>

